



100周年
武石

美ヶ原高原レンゲツツジ

地域自治センターだより

平成21年/2009
7.16 | No.14 |



大会で見せた 消防技術と団結力

上田市消防団 第4回 ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会



第8位 武石第三分団B



第8位 柿富洋一団員



第5位 村岡 峻団員



第9位 岡村駿佑団員
(武石第五分団)



愛する地域、大切な生命や財産を災害から守るため、消防団員は日ごろから訓練や予防広報に務めています。その訓練成果を披露し、分団や個人の消防・吹奏技術を競う上田市消防団第4回ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会が、6月28日に上堀グラウンドで開催されました。

第八方面隊からは、小型ポンプ操法に6チーム、ラッパ吹奏団体の部に5チーム、個人の部に10名が出場しました。この日のために練習に励んできた選手たちは、サポートしてきた団員や家族らに見守られ、練習の成果を堂々と披露していました。

各分団の操法・吹奏の技術、その操作から感じられた気迫や団結力は、これからの消防活動にきつと生かされることでしょう。

▼大会結果(上位入賞)

▽小型ポンプ操法(36チーム出場)

第8位 武石第三分団B

第5位 村岡峻団員

(武石第三分団)

第8位 柿富洋一団員

(武石第三分団)

ともしび博物館でものづくり 灯火器づくり教室



★5人以上で灯火器づくりを申し込みの場合は、職員が作り方の説明やお手伝いをします。事前にご連絡ください。
 武石ともしび博物館 Tel 85-2474



武石ともしび博物館で、5月3日に木製灯火器づくり教室が行われ、市内外から親子連れなど18人が参加しました。ぼんぼり、角あんどん、こま燭台の中から作りたい作品を選び、博物館職員から教わりながら組み立てていきます。灯火器の周りに貼る和紙は、博物館にあるモミジ、イチヨウなどの葉をかたどったもの。参加者の皆さんは、協力し合いながらものづくりを楽しんでいました。

原田泰治氏

「武石の秋」

武石公民館に展示

諏訪市在住の画家、原田泰治氏が唐沢小原の福寿草群生地付近を描き、昨年発表した「武石の秋」のピエゾグラフ（絵画を最先端のデジタル技術で再現した複製画）が武石公民館ロビーのショーケースに展示されました。公民館開館中であれば、いつでも鑑賞できます。



★熱戦！水無月杯バレーボール大会

6月14日、武石体育館で武石バレーボール連盟主催の第4回武石水無月杯バレーボール大会が行われました。昨年までは、夜間3日間かけて実施していた今大会を、今回は初めて日曜日1日使って行いました。全5チームが参加した大会は、接戦！熱戦！の連続。ひとつのボールを追ってチームが一丸となり対戦する姿に、会場からは、好プレイには大きな拍手が、愛嬌のあるプレイには笑いとお声援が沸きあがっていました。昼休みには、自慢の手作り弁当や料理が並び、それぞれの家庭の味を楽しんでいました。

参加された皆さんには、大会を通じて仲間との親睦やコミュニケーションがいつそう深まった有意義な一日であったようです。

【大会結果】 優勝▶ファミリー
 準優勝▶小沢根
 第3位▶ワイン



★交流・文化施設に市民の声を

JT開発地に建設予定の交流・文化施設の市民公聴会が、5月20日に武石公民館で開催され、約50人が集まりました。市民からは「美術館にいい作品を展示してほしい」「ランニングコストをシビアに考えた方がよい」などの意見が出ていました。



★美ヶ原牧場で初！放牧祭り

美ヶ原牧場放牧祭りが5月31日に開催されました。あいにくの雨と霧の中、牧場を訪れた皆さんは、牛とふれ合ったり、野外バーベキューや豚汁などを楽しんでいました。美ヶ原牧場には今年も350～400頭の牛が放牧されます。



武石地域協議会 活動日誌

No.14

関 地域振興課 Tel 85-2824

第2回 5月25日開催

第3回 6月23日開催

武石地域の課題について

第1回協議会で委員が武石の課題として提案した意見に対し地域自治センターが回答、それをさらに協議して地域の課題を明らかにしました。次回からは部会を設け、課題の解決に向けて協議を深めていく予定です。

★…委員から出た意見 ☆…協議内容

地域協議会のあり方に疑問

★会議内容は行政からの報告が多く、意見が反映されていないのではないかと。

☆自治センターだよりの発行や合併に伴う激変緩和措置など、地域協議会の意見は反映されています。地域協議会は、地域の重要なことを決めるときに住民の意見を反映させるために設置されています。また、市長に意見を述べたり、まちづくりに関する調査研究を行うとされています。今の委員の任期が終わる来年3月までに武石地域の将来についての方角性を出したい。

武石地域の道路整備

★車椅子の人を乗せていると武石の道路は揺れがひどいと言われる。

☆平成19～20年にかけて、沖から市之瀬までの市道が整備されました。地域内の市道については自治会と協議しながら整備が進められているので、自治会を通して要望をあげていただきたい。国・県道の整備は、自治センターから関係機関に要望していきます。

地域予算で獣害対策を

★持ち寄り基金を使った地域予算で獣害対策に取り組ん

でほしい。

☆獣害防護柵は、材料を市で提供し、自治会の労力奉仕で進めています。地理的条件や受益者の多少により、設置が困難な自治会もあります。地域予算を労力の不足部分に充てることは、今後の検討課題です。地域の状況を調査し、地域協議会として対応を協議する必要があります。

都市計画の話、その後は？

★都市計画の話が聞こえなくなりました。地域協議会として協議を深め、方向性を出したかどうか。

☆現在、市では武石地域における都市計画区域・税のあり方について検討しています。協議会で勉強会を開催することも必要と考えます。

その他、御柱祭や武石の観光資源についてなど、多くの意見について協議しました。



★菖蒲園でお花見給食

依田窪南部中学校の生徒たちが心をこめて手入れし、受け継がれてきた花菖蒲が6月下旬に見ごろを迎えました。花はや



や少なめでしたが、花菖蒲旬間中には、学年ごとにお花見給食が行われ、生徒たちは色とりどりの花を前に、おいしい給食を楽しんでいました。

★満員御礼！小学校PTAバザー

6月20日、武石小学校PTAバザーが武石体育館で開催されました。地域の皆さんから多くの品物を提供してもら



らい、当日はたくさんの方でにぎわっていました。この日の収益金は、小学校の学校教育に使われるということです。

★美ヶ原のお花畑復活を願い…

美ヶ原物見石山へ続く遊歩道沿いのレンゲツツジ群生地



地で、6月6日、笹刈りが行われました。霧の中、市職員や市民ボランティアら約40名が刈払い機や鎌で生い茂ったシナノササを刈り取ると、芽吹きだしたレンゲツツジが顔を出しました。

★道路わきを彩るレンゲツツジ

6月上旬、雲溪荘より沢奥へ5キロメートルほど進んだ



わたり鮮やかな朱色に染まっていました。道路わきのレンゲツツジが美ヶ原高原より一足先に見ごろを迎えていました。

ふるさと体操 健康づくりから始まる地域づくり 【武石讃歌版】を広げよう!

武石地域健康推進委員会(委員45名)では、武石讃歌に合わせたふるさと体操を考案し、健康相談会や敬老会などで武石地域に広める活動をしています。



2
足踏み
♪ 信濃の空に
青雲高く♪



1
スキー
♪ 前奏♪



4
舟こぎ
♪ 仰ぐ我らに
望みあり♪



3
大きく横に
小さく
♪ 美ヶ原
朝日に映えて♪



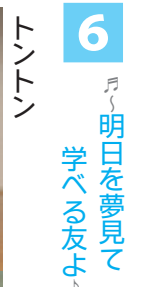
5
わきをパタパタ
足踏みしながら
♪ 武石の川の
行く末遠く♪



6
パ(左)
トントン
♪ 明日を夢見て
学べる友よ♪



7
右に伸びる
左に伸びる
戻る
♪ 愛の山河に
我ら住む♪



8
アジサイの七変化
戻る
♪ 唐沢のアジサイ公園
花だより♪



健康推進委員の皆さん

「健康づくりを一緒に」を合言葉に地域に少しずつ体操を広げていきます。



9
花言葉 健気
戻る
♪ 美ヶ原高原のマツムシソウ
咲き誇る♪



10
マツムシソウの名の由来
戻る
♪ 武石の
花だより♪

唐沢のアジサイ公園

7月中旬～8月上旬。カラマツと杉林の中で、涼しげな青や紫のアジサイが見ごろを迎えます。



花言葉 移り気

▽アジサイの七変化!
アジサイの花は、緑、白、青、紫と開花するにつれて色が変化することから、移り気な花とされたようです。

武石の花だより

美ヶ原高原のマツムシソウ

8月中旬～9月上旬。さまざまな山野草とともに美ヶ原高原美術館周辺や武石峰で咲きます。



花言葉 健気

▽マツムシソウの名の由来
マツムシソウという名は、松虫の鳴くころに咲くからといわれており、秋の訪れを感じさせてくれます。